

動きのある集合住宅

シモキタという地域の特徴を反映し
街とリンクさせ、関わる人を動かす



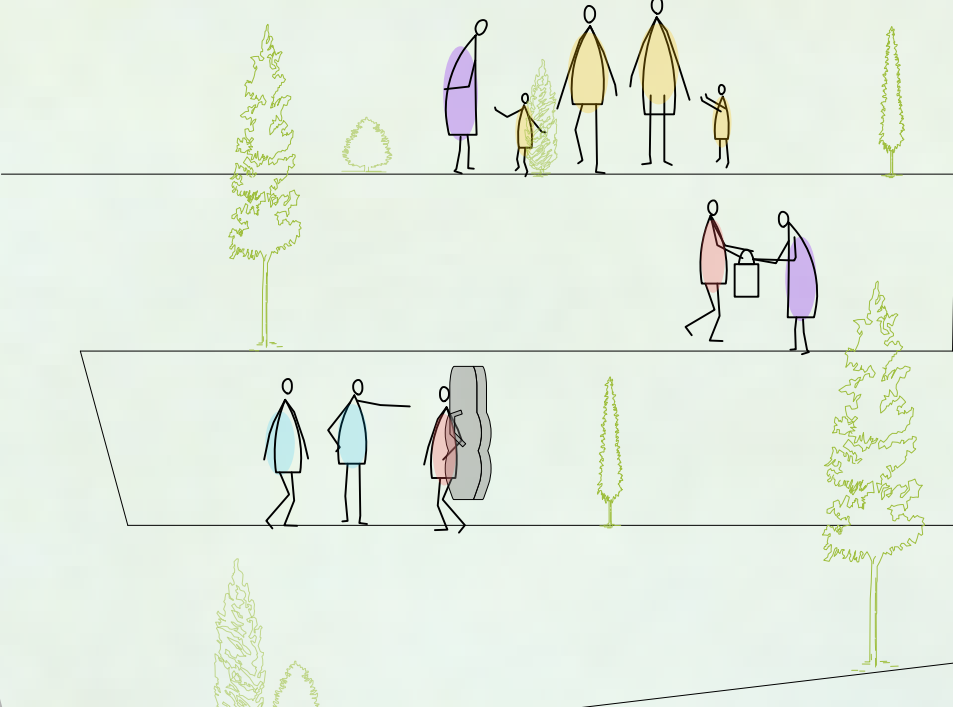
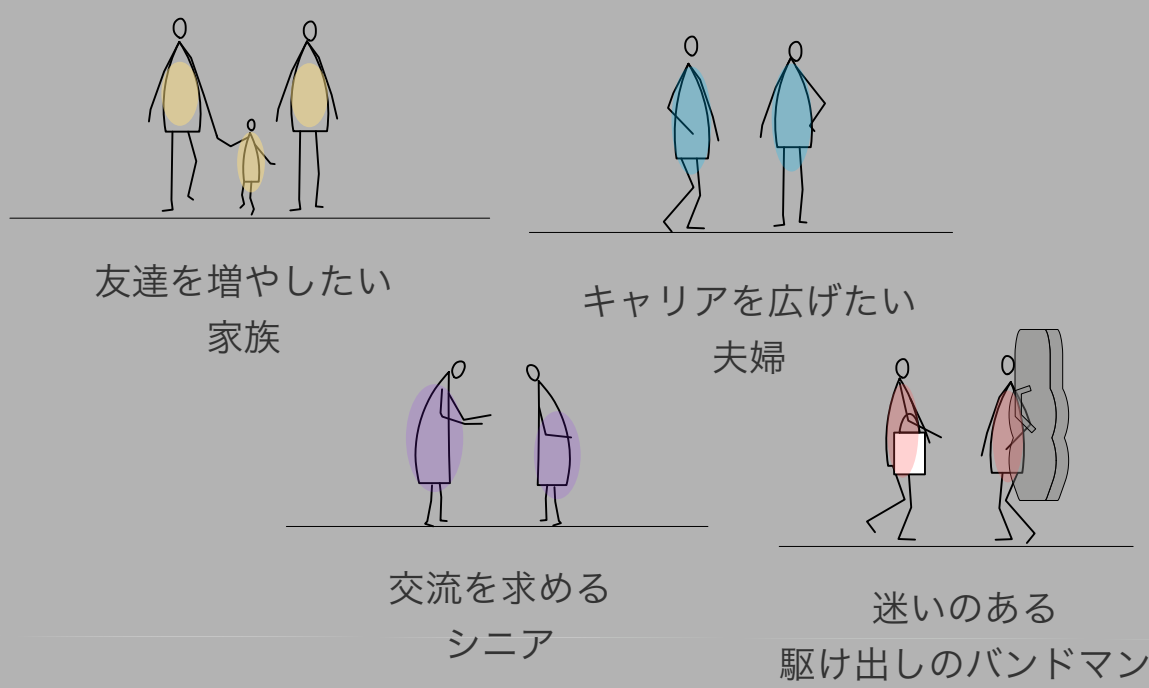
計画敷地/人が動き、街が 変わるシモキタ

シモキタは劇場やライブハウスなどが建ち
並び、サブカルチャーが集まる街である。
常に賑わいがあり、人通りも多いエリアであ
るため複雑な人の動きが見られる。

小田急線の地下化やそれに伴う再開発など、
常に街が変わっている。



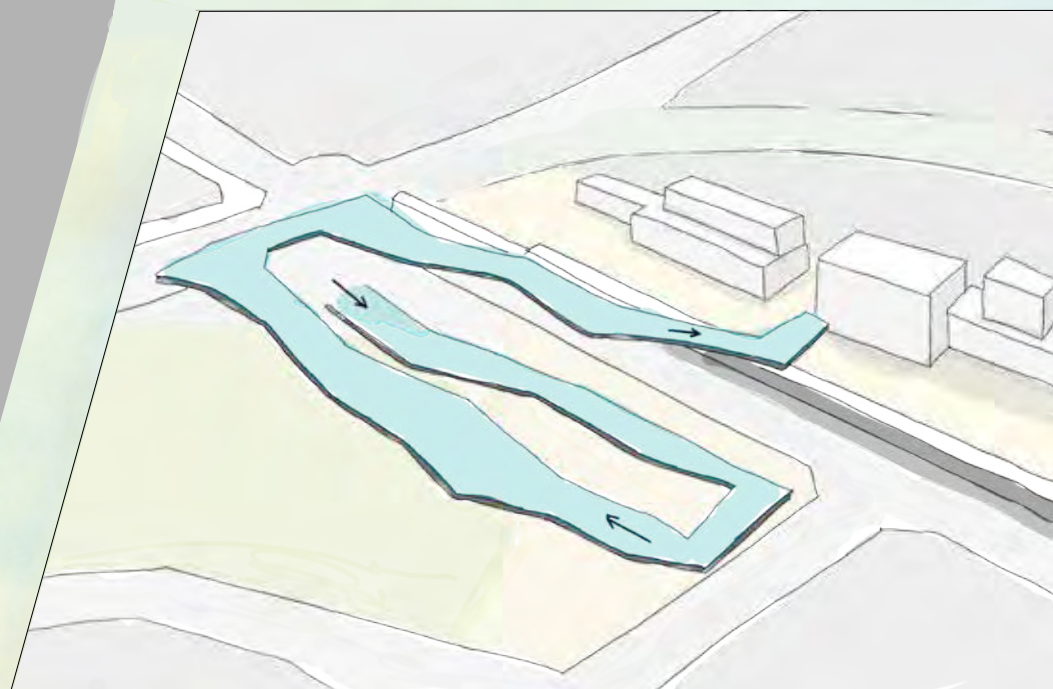
ターゲット/シモキタの人々



迷いの晴れる交流の場、多世代の交流が生まれる場、を作り出す。

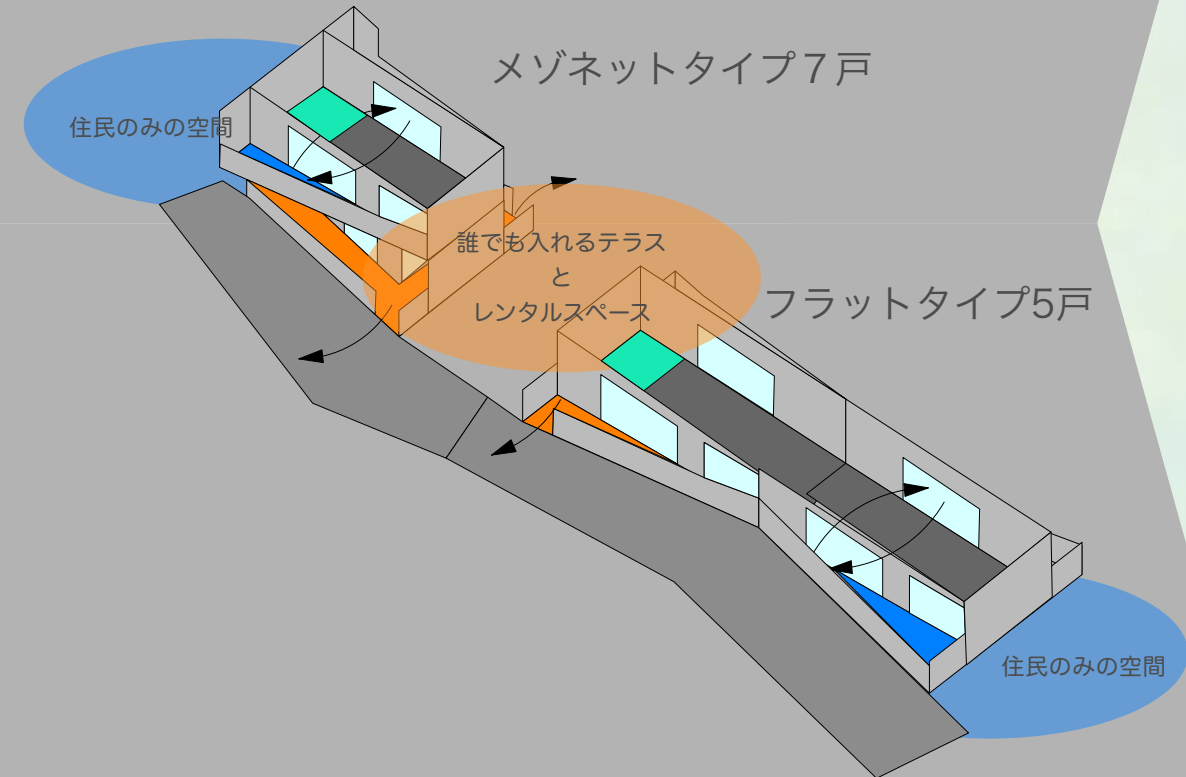
計画Ⅰ/人通りの多いシモキタの街 を引き込むスロープ

シモキタの街の人通りをそのまま引き込むように、
建物に沿ってスロープを巡らせる。これにより、
自然とスロープが賑わい、周辺からもスロープを
行き交う人が垣間見えるため、動的な建物が街と
リンクする。



計画Ⅱ/動きを作る住戸プラン

1つの住戸は2つの台形空間の組み合わせに
よって成り立つ。交互に重ねることで光と風
を取り込み、動きのある外部空間（テラス）
を作る。



計画Ⅲ/他人の部屋を借りることで 生まれる動き

集合住宅に住む人同士の部屋を交換するシステムを
作ることで建物内も変化させる。一軒家では限りが
あるが、集まって暮らす集合住宅だからこそ可能と
なる。このような移動により、住民同士の交流が増
え、自分だけの住戸に留まらない人と空間の動きが
生まれる。

